

16) 靈的エクササイズ 10 2020年4月24日

朗読 使徒言行録5：34-42

福音書 ヨハネ6：1-15

父と子と聖霊の御名によって アーメン。イエスとマリアは賛美されますように！
兄弟姉妹の皆さん、使徒言行録5章には、とても驚くべきことが書かれています。
法院の議員たちは使徒たちの扱いに困ってしまい、最後に鞭（むち）で打ち、「イエスの名によって話してはならない」と命じて釈放します。

すると使徒たちは、「イエスの名によって辱めを受けるほどの者にされたことを喜び、最高法院から出て行き、毎日、神殿や境内や家々で絶えず教え、メシア・イエスについて福音を告げしらせていた」のです。

皆さん、彼らは鞭打たれて喜んだのです。どうしてこのようなことができるのでしょうか？

私が「いい子」でなかったとき、打たれたことがあります。私は嬉しくなかったです。また、理由がないのに打たれたこともあります。嬉しいとは思いませんでした。

私たちは棒や鞭だけで打たれるのではなく、言葉で打たれることもあります。この場合はより深いところが痛みますし、痛みは長い間残ります。

使徒たちは鞭打たれた後、どうして喜びをもって法院を去ることができたのでしょうか？
使徒ペトロは第一の手紙でこのように書いています。

「もし、神の御旨であるなら、善いことを行って苦しむ方が、悪いことを行って苦しむよりも勝っています。」（第一ペトロ3：17）

彼は、このように話すことができる経験をしています。「そんな人は知らない、そんな人は知らない、わたしには関係ない」彼は三度も主を否認しました。そして、イエスは死にました。

ペトロはイエスが生きているうちに赦しを願うチャンスがなかったのです。ですから、他の使徒たち以上にペトロの悲しみは大きかったのです。そのことが彼の上に重くのしかかっていました。

私が以前に読んだことのある物語をお話ししたいと思います。大体的内容はこのようなものでした。

あるところに邪悪な男の人がいました。彼は、世の中の良いものを見ることができませんでした。彼は「悪い人」そのものでした。あるとき、彼はオアシスにやって来ました。そこには美しい大きなヤシの木々が生えています。彼は、まだ小さなヤシの木があるのを見つけ、「このヤシの上に大きな石を置いて潰してやろう。そうすればもう育つことはできません」と考えました。ところが、その石の重みでヤシの木は深く地面に根を下ろし、以前よりも水を吸収できるようになり、普通よりも時間がかかったかもしれませんが、育ち、そして育ち、すばらしく強く、大きくなり、豊かに実をつけたのです。

兄弟姉妹の皆さん、私たちの人生もこのようなものです。

あなたが他人によって不当な扱いを受けているとき、あるいはペトロのように「私は裏切り者だ」と自分で自分を不正と定めるとき、あなたはどうすればいいのでしょうか。選択肢は二つあります。

第一は、自己憐憫に陥り、「私は本当にかわいそう、こうなったのはあの人のせいだ、それにあの人も悪い」と嘆くこと。これを人に訴えると、「あなたはいつも同じことを言っている」と言われてしまいますね。

第二は最も良い方法で、イエスのところへ行き、私たちの霊的根っこまで降りていくことです。そこには泉があります。私たちの信仰の泉、イエスにたどり着きます。泉から水を吸収しましょう。そこではイエスの御心に入ることができます。

そして、何度も言いますが、みことばを読むことです。そうすれば神の知恵が与えられます。

イエスは私たちの心に語りたいと思われています。昨日も言いましたが、イエスのたった一言は、他の何よりも豊かに私たちに働きかけます。

私の後ろにある古いりんごの木を見てください。この木は私よりも歳をとっているんですよ。この木は曲がっていますね。もし、誰かがこの木はまだ大丈夫だと判断して、添木で幹を支えてやらなかったなら、とうに倒れて枯れていたかも知れません。りんごも成らなかったか、形のおかしな実をつけていたかも知れません。

しかし、この添木のおかげで、何年間もこの木は花を咲かせ、たくさんの実をつけているのです。

私たちの人生もこのようなものです。私たちもイエスに添え木になっていただきましょう。私たちの添え木は、イエスが十字架上で成し遂げられた御業です。イエスにおいて、私たちはしっかりと立つことができます。

私たちが謙遜であるなら、イエスのもとに助けを求めるなら、イエスが私たちにしてくださった十字架上の御業を受け入れるなら、イエスの愛を受け入れるなら、イエスは支えてくださいます。

ペトロにイエスが三度「愛しているか」と聞かれ、三度「愛しています」と答えることができたように、イエスは一人一人に添え木を提供してくださると確信しています。

イエスは、イエスの刺し貫かれた御心を通して、私たちが御父の深い愛のふところにたどり着くことができるように導いてくださいます。

そして、私たちはペトロと共に、「もし、神の御旨であるなら、善いことを行って苦しむ方が、悪いことを行って苦しむよりも勝っています」と言うことができるのです。

使徒たちと共に、「イエスの名によって辱めを受けるほどの者にされたことを喜ぶ」ことができるのです。

兄弟姉妹の皆さん、人々の中に自分の栄光を求めないでください。（他人に認められたり、褒められたり、称賛されたりすることを求めないでください）

すべての栄光は神に帰せられるものです。

生きておられる神、聖なる神、真理の神が、皆さんを神の力で満たしてくださいますように。父と子と聖霊の御名によって。アーメン。